地域農業の未来を応援します!
福島県農地中間管理機構
キビタン©福島県

第8号　令和4年10月

あぐりサポートニュース
～12市町村 復興再生への取組《広野町》～

(公財)福島県農業振興公社

広野町における営農再開状況及び営農再開に向けた取組紹介

広野町は、原子力被災12市町村の中でも早くから避難者の帰還促進、営農再開に向けて取り組んだ町です。現在は、町民の帰還率は９割を超えており、それに伴い営農再開も８割まで回復しております。

人・農地プランの実質化に向けて、町内を５つの地域に分け、各地域の耕作者や農地所有者の方々と話合いを重ね、昨年度末にまでに全ての地域で実質化されています。

農地バンク事業は、令和3年度までに44.6haで活用されており、今年の8月には箒平地区の契約事務を終え、10月に浅見川及び北迫地区の農地バンク契約に係る調印会が開催され、町内での活用が進んでいます。その契約の中には、町内の農業法人で研修を行っていた新規就農者への農地の貸借契約も含まれており、今後も新規就農者が増えていくことが期待されています。

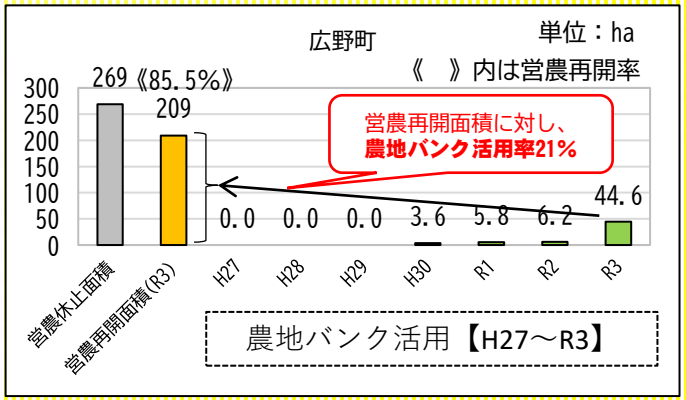
また、町内では育苗ハウスを利用したシャインマスカットの栽培に取り組んでいる農家が増えてきております。その理由としては、営農再開に向け整備された育苗ハウスに簡単な改造を施すだけで、水稲育苗とブドウ栽培の両方を行うことができ、育苗ハウスを有効利用できるからです。その他にも、広野町振興公社では町の新たな特産品として国産バナナ「綺麗」も生産・販売しています。収益性の高い果樹品目を導入することにより、農家の経営基盤の強化を図ることができます。

今後も新規就農者の確保や新たな品目の導入により、広野町で農業の活性化が図られればと期待しています。

水稲作付け状況《箒平》

バナナ栽培状況

《市町村コーディネーター 自己紹介》

広野町・富岡町担当 市町村コーディネーターの大場 隆（おおば たかし）です。今年の４月より、広野町に駐在しております。農地中間管理事業推進に向け、不慣れな場面など多々あると思いますが、どうぞよろしくお願いします。

調印会　開催状況